

様式第8号

議長	副議長	局長	次長	係長	



研修等報告書

令和 4年 11月 9日

笠岡市議会議長 殿

議員 真鍋 陽子



下記のとおり研修等を実施したのでその結果を報告します。

記

案 件	全国オーガニック給食フォーラム 有機で元気！
期 日	令和 4年 10月 26日 (日) 14時 から18時 まで
主 催 者	全国オーガニック給食フォーラム実行委員会
講 師	<p>第一部 「オーガニック給食は世界の流れに」 前田レジーヌ (翻訳家) カン・ネヨン (キョンヒ大学 兼任教授) 佐藤夏人 (農林水産省農産局農業環境対策課長) 青山恵津子 (文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課係長)</p> <p>第二部 「日本でも広がるオーガニック給食」 ビデオレター 千葉県木更津市 愛媛県今治市 宮崎県綾町 新潟県佐渡市</p> <p>座談会 「オーガニック給食奮闘記」 ファシリテーター 島村奈津 (ノンフィクション作家) 秋山豊 (JA 常陸組合長) 鮫田晋 (千葉県いすみ市職員) 杉木悦子 (学校給食地産地消食育コーディネーター)</p> <p>第三部 「オーガニック給食で何が変わる？」 鈴木宣弘 (東京大学大学院教授) 内田聖子 (NPO 法人アジア太平洋資料センター共同代表) Yae (半農半歌手・シンガーソングライター)</p>
訪問施設	オンラインにて申し込み アーカイブ視聴
	<p>笠岡市内において実験的に取り組みが行われているオーガニック給食を、今後どのように進めていくことができるのか、先進事例を学ぶために参加した。</p> <p>○2018年10月「農業・食品業の均等な取引及び健康で持続可能な食生活の推進に関する法律」(通称エガリム法) が可決されたフランスでは、有機農業の普及が進み、同法の下</p>

	<p>学校給食の20%を有機食材とすることが求められている。</p> <p>○韓国では給食の委託が進み、企業が利益を追求、全国各地で食中毒が頻繁に起きたことから保護者がより良い給食を求めてネットワークを発足。学校給食法改正を目指した。2006年、給食において4000名を超える被害者が出た大きな食中毒事件が起き、学校給食法は改正され、委託ではなく直営が基本となり、優秀農産物の使用が義務化された。 (優秀農産物の規定をクリアしたものは、自然と親環境農産物となる。)</p> <p>親環境農産物を利用した無償給食は有機農業促進の追い風となり、全国の幼稚園、小中学校給食は100%、今では高齢者施設、公共給食も親環境無償給食になっている。子どもが病気になる社会を作る、少なくとも学校給食は安全にということから始まって、現在は国民と未来世代に安全で健康と環境に配慮した食べ物を持続的に供給する、といった韓国のフードプランにつながっているとのこと。</p> <p>○農林水産省からは、2021年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」により、2050年までに目指す姿として、耕地面積に占める有機農業の取り組み面積の割合を25% (100万ha) に拡大すると示していること、輸入原料や化石燃料を原料にした化学肥料の使用料を30%低減、化学農薬の使用料をリスク換算で50%低減することなど紹介があった。本戦略の実現に向け、2022年7月1日には「みどりの食料システム法」が施行。農水省では有機農業に取り組む意欲のある自治体を支援するためのメニューを用意している。2025年までに全国で100の「オーガニックビレッジ」の開始を目標としているとのこと。笠岡市においても前向きに検討していただきたい。</p> <p>○文科省は、令和5年度にオーガニック給食を支援できる予算を要求しており、活用を呼びかけられていた。笠岡市においてもこういった予算をしっかりと研究し、事業に組み込んでいただきたい。</p> <p>他、様々な報告があった。自治体職員からは最初に目指していたのは「自然と共生する里づくり」であったこと、優れたお手本にとことん学んだこと、対立軸を作らずにだれもが無理なくできるところからを目指したこと、など。自治体首長からは、子どものアレルギーが落ち着いたと感謝された、との報告もあった。</p> <p>未来を担う子どもたちに安心安全な最高の給食を届けることは「大人の責任」だという認識が、登壇者すべてに共通してあった。</p> <p>本フォーラムには自治体首長、国会・自治体議員も多数参加。各地の市民団体、生協、JA組合長、オーガニック農業生産者グループが実行委員として参加。会場、サテライト会場、オンラインでの視聴参加者はあわせて約4000人とのこと。</p> <p>笠岡市では、笠岡市長、教育部長、給食センター長、農政水産課職員がオンラインにて視聴した。岡山県内で首長が参加した自治体は、笠岡市のみであった。今後、笠岡市においてオーガニック給食を積極的に取り組んで頂けるよう、今後も研究を重ね、提案を続けていく。</p>
添付資料	<p>全国オーガニック給食フォーラム資料集 広がるオーガニック給食</p>